学校保健委員会便り

小田原市立富水小学校

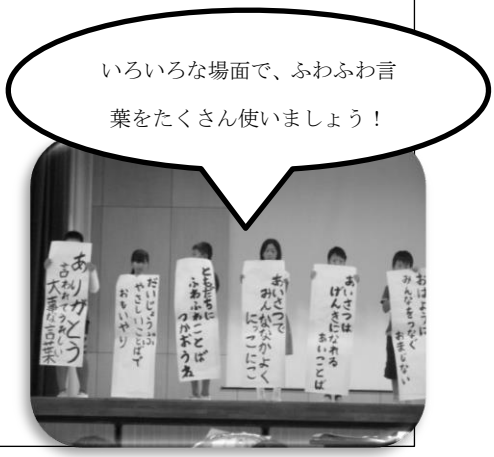
平成 29 年 7 月 13 日（木）14:15～体育館にて学校保健委員会が行われました。今回は、『ふわふわの言葉と行動を広げよう！つなげよう！』をテーマに、4～6 年生全員が参加して自分たちの生活を振り返りました。現在、保健委員を中心に各班から出たふわふわ言葉辞典をまとめている途中です！

児童保健委員の発表

児童保健委員では、いろいろな場面でふわふわの言葉と行動を意識して使えるような活動を考え、紹介しました。

まずは、毎日のあいさつについて自己チェックをし、友だちだけでなく先生方や地域の方々にも積極的にあいさつをしていこうと呼びかけました。そして、全校できちんと取り組むことができるように、校内に標語を掲示し、あいさつや感謝の気持ち、思いやりのある言葉などをたくさん使う友だちが増えるように工夫しました。

自分たちの標語が全員に見えるように文字の大きさを考えたり、発表の言葉を練習したりなど責任をもって伝えることができました。



子どもたちの活動～ふわふわ言葉辞典作り～

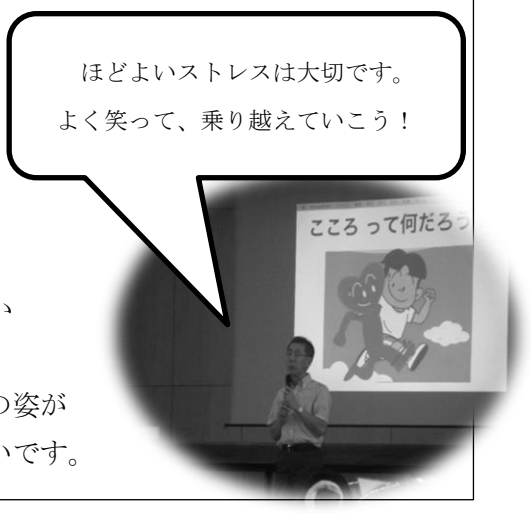
富水っ子班で協力し、どんなふわふわ言葉があるか話し合いました。保護者の方々にもご協力いただき、考えを深めることができました。「あ…ありがとうだね。」「す…すごいねとか、ステキだねとかは？」など、子どもたちで意見を出し合い、交流しました。

最初は、「ふわふわ言葉を集めるって、意外と難しいね。」と話していた子どもたちも、自分たちが日常生活の中で自然と使っている言葉を思い出していくうちに、だんだんと笑顔になっていく表情が印象的でした。

PTA 会長の関田さんからは、「この活動を低学年の子どもたちにも広めて、全校のみなさんで使えるとよいですね。」とアドバイスをいただきました。今後の活動に活かしていきたいです。

横田小児科　横田俊一郎先生より　～心のストレスと心の健康～

「心と体は一つの細胞からできているため、身体が健康なら心も元気ということです。」横田先生の言葉を聞いて、頷いている子どもたちの様子が見られました。テストや宿題、授業中の発表などの緊張感は、ほどよい心のストレスであり、必要なことだと教わりました。ただ、心配事や悩みが多いと風邪を引きやすくなるため、必要のないストレスはなるべくなくそうというアドバイスがありました。

ふわふわ言葉については、自分の言った言葉が、相手にどう伝わるか相手の立場に立って考える習慣が大切だと教わりました。

横田先生のお話と自分の生活を重ねて興味をもって聞く子どもたちの姿が見られました。上手にストレスと向き合い、学校生活を過ごしてほしいです。